



西中学校創立70周年を迎えるに 当たって（2）

～エフエムいたみで放送されます～

1 西中学校の校風

校訓を「友愛 自治 礼譲」とし、学校教育目標を「あらゆることに活力にあふれた生徒の育成」～自ら学び、自ら行動する生徒の育成～として、それぞれを達成できるようにあらゆる教育活動に取り組んでいるところです。本校の生徒の様子を見ますと、学習面や運動面、生活面などにおいて、ある程度の基準に達しており、しっかりと学校生活を送ることができています。本校は、日頃の挨拶、体育大会の行進、文化祭での合唱などが素晴らしく、伝統となっています。今後も、行事等を通して、下級生が上級生を見習いながら伝統を受け継いでくれ、活力にあふれる生徒に育ってほしいと思っています。

2 西中学校の取り組み

さて、本校は、授業や行事、部活動などで自尊感情を育む学校を目指しています。特に行事では、体育大会の演技、行進や文化祭の合唱、卒業式などで上級生が下級生の模範となっています。毎年素晴らしい行事にしてくれており、よりよき伝統が受け継がれています。異年齢の活動はどの学校も部活動が中心ですが、本校では各学年1クラスずつが「きょうだい学級」として組織され、上級生が下級生をサポートしながら様々な行事に取り組んでいます。具体的には、今年度からは「ディベート大会」を開催しましたが、昨年度までは、1学期の終わりに「きょうだい学級」で発表会を行っていました。1年生は「林間学校」、2年生は「トライやる・ウィーク」、3年生は「修学旅行」について各学年の生徒が他の学年の生徒に語ります。3年生は慣れたものでおもしろおかしく堂々と語りますが、1年生はたいへん緊張しており、少しぎこちない様子が見られます。上級生は温かい態度とまなざしで下級生の発表を聞き、最後には大きな拍手を送ります。体育大会では、「大縄跳び」を「きょうだい学級」対抗で行います。3年生が体力の無い1年生を気遣ったり、1年生に負担の少ないポジションで跳ばしたりしながらみんなで心を1つにして跳んだ回数を競います。また、文化祭の合唱練習では「きょうだい学級」で互いに合唱を聞き合い、高め合います。1年生は3年生の素晴らしい合唱を聞いて、より高いレベルに目標を設定して練習

します。「2年後には3年生のような合唱をするんだ」という意気込みが感じられるようになります。文化祭の時、体育館の後ろに飾られる大きな貼り絵も「きょうだい学級」で作ります。3年生が1年生に教えながら見事な貼り絵を作り上げます。

このような「きょうだい学級」の取り組みの中で上級生が下級生に教えたり、サポートしたりすることによって、上級生に「自尊感情」が芽生えます。また、下級生は上級生に対して「自分たちも先輩たちのようになるんだ」と「あこがれ」を抱くようになります。

今後も「きょうだい学級」の取り組みを充実させて子どもたちに「自尊感情」や「あこがれ」を育む教育を実践し、素晴らしい伝統が引き継がれる学校を目指していききたいと思います。

3 創立70周年事業について

70周年記念式典を10月25日（水）午後1時30分から本校体育館にて挙行いたします。市長、教育長様をはじめ、地域の皆様、教職員やPTAのOBをご来賓として迎え、生徒及び保護者参加のもと式典を行います。記念式典後の午後2時30分からは、宇宙開発協同組合SOALA専務理事の棚橋秀行様をお迎えして、「人工衛星プロジェクト」～モノづくりはひとづくり～という演題でご講演いただきます。これから未来に羽ばたく生徒に、人工衛星の打ち上げで経験されたことを通して、夢や希望はあきらめずに努力を続けると叶うということを語りかけていただく予定です。

6 これからの西中学校への思い、期待すること、 これからの抱負

本校の強みは家庭と地域の教育力の強さだと思います。地域の方からは「西中生、西中生」と気にかけていただき支援していただいたり、保護者の皆様には我が子だけではなく全ての生徒に対して、「温かさの中に厳しさ」をもって接していただいたり、今まで以上に子どもたちを地域や家庭の中で育てていただける学校でありたいと思います。これからも、地域のシンボルとして地域に愛され、保護者の皆様からは信頼される学校を目指していきます。

